椎名勝英議員
（日本共産党）

教員不足、教員の長時間労働をなくし、児童・生徒に丁寧な対応を

問　日本教職員組合の調査では、全国公立学校の教職員未配置が4、739人、同調査を開始して最多となっている。また、教員不足と長時間労働等により、精神疾患を理由に休職した職員が7、119人という報道があり、こちらも3年連続で過去最多である。このような状況では、いじめ、不登校問題で児童・生徒に対し、丁寧な対応ができないのではないか。教育長の考えを伺う。

答　「教育長」議員御指摘のとおり、教員不足の解消や学校における働き方改革の推進は、教職員が心身ともに健康を保つ環境を整え、子どもたちと向き合う時間を確保し、教育活動を持続的に行うために重要なことと考える。

高齢者が増加する中、緊急通報システムの役割は重要

問　独居高齢者世帯の緊急通報装置貸与事業について伺う。

答　「市長」緊急時にボタン一つで相談センターにつながる緊急通報装置を貸与し、24時間いつでもつながる健康相談サービス、同センターから毎月1回健康状態等をお伺いするお元気コールを実施している。

ワクチンの種類と本人負担額（A類：無料、B類：2～5千円程度）

問　市が行う予防接種の種類、本人負担額について伺う。

答　「健康管理課長」予防接種のA類は、発症すると重症化や後遺症を残すBCG、麻疹、風疹など14種類で、接種費用を公費で負担している。B類は、季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、高齢者の肺炎球菌感染症の3種類で、費用の一部を公費で負担している。

食糧問題でもある耕作放棄地（189ha）は、市民生活への影響が大きい

問　耕作放棄地の拡大は、地域産業・経済、病害虫・鳥獣被害、景観の悪化、雑草による火災など市民生活の安全に大きく関わる事柄だ。耕作放棄地の現状と対策について伺う。

答　「農林水産課長」耕作放棄地の面積は、189ha（田92ha、畑97ha）で農地全体の3・6％である。30団体が多面的機能支払交付金を活用し、農地の保全に取り組んでいる。

近藤魁人議員
（匝る風）

海岸線の有効活用について

問　ワンハンドビーチクリーンは、サーファーを中心に広がっている取組であり、海からの帰りに片手でごみを拾い、持ち帰るというシンプルなアクションである。特別な財源を必要とせず、匝瑳市の魅力や海岸線の景観保全にもつながる、優れた施策であると考える。ついては、市として導入を検討いただけないか。

答　「商工観光課長」海岸の景観保全は、市のイメージ向上や観光的な効果にもつながるものと考える。ワンハンドビーチクリーンボックスの設置については、関係課と協議の上、前向きに検討していきたい。

令和7年度予算について

問　令和7年度予算について伺う。予算決算常任委員会においても様々な議論があったが、市長からは、上程された予算案を執行しながら、歳出の削減を図っていくとの発言があった。そうであるならば、歳出削減の目標額や財政調整基金の確保について、具体的な数値を示す必要があると考えるがいかがか。

答　「財政課長」歳出削減と併せて歳入確保にも努め、令和7年度末における財政調整基金残高を、標準財政規模の1割程度、すなわち10億円を目標としている。

市民病院について

問　市長の基本姿勢として掲げられている「市民との対話による開かれた市政運営」は、私自身も極めて重要だと考えている。厳しい財政の現状を市民に知っていただくことが必要であるが、市長の見解を伺う。

答　「市長」現在の非常に厳しい財政状況を市民と共有することは重要であると認識している。私自身が説明責任を果たし、理解が得られるよう努めていきたいと考えている。

問　まえた上で、今後、建設費が当初の見込みより膨らむ可能性がある中で、新病院の建設費用をどのように捻出していく考えか。

答　「財政課長」建設事業費は約76億2、300万円であり、その内訳は国庫補助金15億円、県補助金3億1、800万円、起債52億4、900万円、一般財源5億5、500万円を見込んでいる。市としても大きな負担であると認識しており、今後も必要な財源の確保に努めていく。